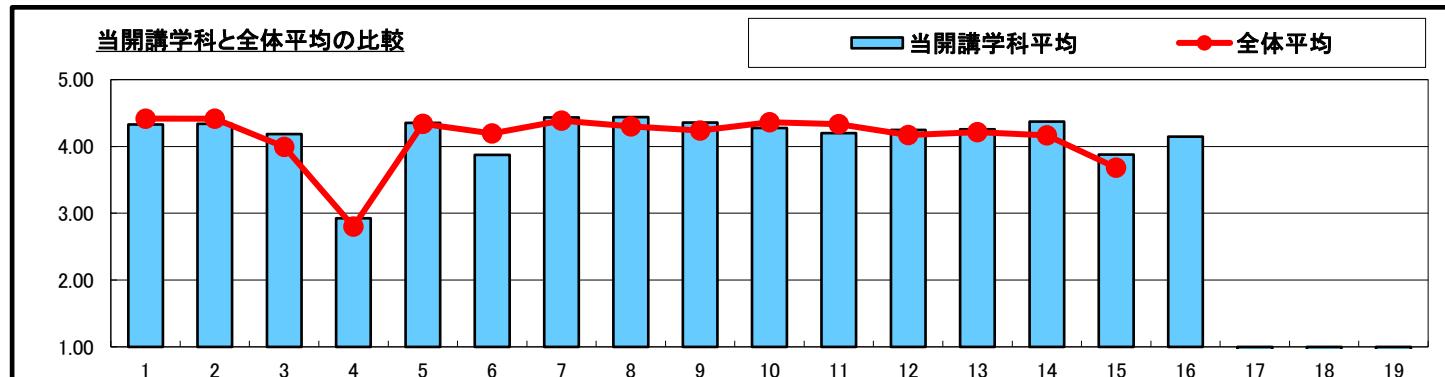


2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	静岡理学療法学科						履修者数	580	
							回答者数	452	
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)								
	1年	2年	3年	4年					
1	70	348	29	5					0
	15.5	77.0	6.4	1.1					0.0
No.	設問文			平均	回答者数／構成比 (%)				
	5	4	3	2	1				
	とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった			4.33	224	174	31	17	4
					49.8	38.7	6.9	3.8	0.9
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった			4.34	241	155	32	17	7
					53.3	34.3	7.1	3.8	1.5
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）			4.18	199	176	45	25	7
					44.0	38.9	10.0	5.5	1.5
▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）			2.93	2時間以上 2時間未満	1時間以上 1時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くして いない
					49	69	161	142	29
					10.9	15.3	35.8	31.6	6.4
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた			4.35	235	158	42	7	7
					52.3	35.2	9.4	1.6	1.6
6	この科目の難易度は適切であった			3.87	138	184	72	47	10
					30.6	40.8	16.0	10.4	2.2
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった			4.43	265	138	32	10	6
					58.8	30.6	7.1	2.2	1.3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った			4.44	258	150	29	8	5
					57.3	33.3	6.4	1.8	1.1
9	【対面授業の場合】この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】この科目はオンラインで受講することが適切であった			4.36	262	127	35	13	13
					58.2	28.2	7.8	2.9	2.9
▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった			4.28	226	156	47	15	8
					50.0	34.5	10.4	3.3	1.8
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった			4.20	206	161	62	16	7
					45.6	35.6	13.7	3.5	1.5
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた			4.25	219	155	55	13	9
					48.6	34.4	12.2	2.9	2.0
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた			4.26	231	143	50	16	11
					51.2	31.7	11.1	3.5	2.4
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた			4.37	242	155	39	9	6
					53.7	34.4	8.6	2.0	1.3
15	この授業のシラバスを読みましたか			3.88	十分に 読んだ	よく読んだ	どちらとも いえない	ほとんど 読まなかった	全く読んで いない
					127	191	95	31	8
					28.1	42.3	21.0	6.9	1.8
▼学科設問									
16	分からないことについて、自分から調べることができた			4.15	187	178	62	13	11
					41.5	39.5	13.7	2.9	2.4
17				-	0	0	0	0	0
					-	-	-	-	-
18				-	0	0	0	0	0
					-	-	-	-	-
19				-	0	0	0	0	0
					-	-	-	-	-



2024 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	静岡理学療法学科
講評者	静岡理学療法学科学科長 佐藤友紀

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	すべての設問において平均が 4 点を超えていた。なかでも設問 3 は全体平均より高い傾向であったと考える。資格を取得する学科のため、資格を取得しない他学科より、目的意識が高い学生が入学していることが関係していることが要因であると思われる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	概ね全体平均並みであった。しかし、設問 6 「この科目の難易度は適切であった」は、学科平均が全体平均より低い傾向であった。これは、国家試験を受験する学科のため、各教員が国家試験合格を目指に熱心に授業を実施している表れと取ることができる一方、学生に分かりやすく伝えられていないことの表れでもある。分かりやすく伝える教授力を教員が意識し、実践できるよう、FD 研修などを生かしていきたい。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 11 「板書、スライド、配布資料は適切であった」が全体平均よりやや低く、設問 14 の学生への受講態度の注意は全体平均より高い傾向があった。上記の設問 6 と合わせて考えると、入学してきた学生の変化に対応した教授力で授業を実施することが重要であることを感じさせるものであった。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	分からぬことがあった場合、半数以上の学生が進んで調べることができたという回答であった。約 1/3 の学生は自ら調べることをしなかったので、この 1/3 の学生が進んで分からぬことを調べができるようになるための工夫が必要である。これができるれば国家試験の合格率も 100% に到達できると考える。